

## 第23回 宇宙開発戦略本部 議事概要

日時：令和2年12月15日（火）10：35～10：50

場所：官邸2階 大ホール

出席者：別紙のとおり

議事：

- (1) 宇宙基本計画工程表（令和2年度改訂）について
- (2) その他

議事概要：

○ 冒頭、井上宇宙政策担当大臣から、資料1「宇宙基本計画工程表（令和2年度改訂）（案）のポイント」について説明が行われた。審議の結果、「宇宙基本計画工程表（令和2年度改訂）」を宇宙開発戦略本部として決定した。

○ 出席者からの発言は以下のとおり。

- ・ 茂木外務大臣から、「外務省としては、新たな宇宙基本計画に基づき、宇宙空間の持続的かつ安定的な利用の確保に向けて取り組んでおります。米国との間では、8月に宇宙に関する包括的日米対話を開催し、また、米国提案によるアルテミス計画や、我が国の準天頂衛星に米国の宇宙状況監視センサーを搭載するといった具体的な協力を推進しております。国際的なルール作りについては、日英等が国連総会に共同提案した、「宇宙空間における責任ある行動」について国際的な議論を求める決議案が、今月8日、164か国の支持を得て採択されました。今後とも同盟国・友好国等と戦略的に連携した取組を進めて参ります。」といった発言があった。
- ・ 梶山経済産業大臣から、「経済産業省では、来年度、安全保障上も重要性が増している超小型衛星コンステレーションの基盤技術の開発支援を行います。また、民間宇宙事業者のサイバーセキュリティ対策強化のためのガイドラインを開発します。加えて、官民における衛星データプラットフォーム Tellus の利用促進などに取り組めます。これらの取組を通じ、民間宇宙ビジネスを支える基盤の強化を図って参りたい。」といった発言があった。
- ・ 武田総務大臣から、「総務省では、安全性の高い衛星通信を実現するため、盗聴や改ざんが極めて困難な衛星量子暗号の研究開発・実証を積極的に進めて参ります。また、長距離・大容量通信を可能とする宇宙光通信や、地上と宇宙をシームレスにつなぐ高度な情報通信ネットワークの実現など、先進的な研究開発に引き続き取り組んで参ります。」といった発言があった。
- ・ 岸防衛大臣から、「我が国の安全保障における宇宙システムへの依存度が高まる中、宇宙空間においては様々な脅威が増大しており、宇宙空間の安定的

利用の確保が喫緊の課題となっております。そのため、防衛省・自衛隊では、今年5月に新編した宇宙作戦隊を中心に、米軍やJAXAと緊密な協力を図りつつ、宇宙状況を監視するための体制の構築および能力の強化に取り組んでいるほか、衛星システムの抗たん性強化などについても検討を進めているところです。引き続き、平時から有事までのあらゆる段階において、宇宙利用の優位を確保するための能力を強化して参ります。」といった発言があった。

- ・ 萩生田文部科学大臣から、「はやぶさ2は、一つの小惑星への二度の着陸など数々の世界初の成果を挙げ、宇宙探査に関する我が国の技術力の高さを示すとともに、省エネ飛行等の技術進展により、引き続き、次の小惑星探査に向かっております。また、アルテミス計画への参画を通じて、将来の月面等の探査に必要な技術開発や、日本人宇宙飛行士の活躍機会の確保など、中長期的な視野に立った取組を積極的に進めます。」といった発言があった。
- ・ 小泉環境大臣から、「衛星データの利用は自然環境の効率的な把握等、環境行政上非常に有効な手段であり、先日のタスクフォースでの取組方針も踏まえ、積極的な衛星データ活用を図って参ります。さらに、環境省は、工程表に基づき温室効果ガス観測技術衛星GOSATの3号機の開発を本格開始し、世界中のパリ協定の目標達成に向けた進捗管理に貢献致します。また、環境省は、GOSATのスペースデブリ化防止対策を先駆的にとりまとめ、先月合意された政府衛星のデブリ化抑制方針に貢献して参りました。引き続き、GOSAT1号機のデブリ防止対策の具体化に率先して取り組んで参ります。」といった発言があった。

○ 菅内閣総理大臣より、以下のとおり指示があった。

- ・ 本日は、宇宙基本計画工程表の改訂を決定しました。
- ・ はやぶさ2による、世界初の小惑星からのサンプル回収の成功は、我が国の宇宙技術の水準の高さを世界に示すとともに、多くの人々に未来への夢と希望を与えるものとなりました。
- ・ 宇宙を巡る国際競争は、ますます激化しています。こうした中、我が国の技術力を更に強化し、同盟国である米国等との一層の連携の下、宇宙安全保障の確保や、月面での持続的な活動を目指すアルテミス計画等を推進するとともに、将来の宇宙活動のルール作りに取り組んでいきます。
- ・ 宇宙はデジタル化の基盤としても重要です。準天頂衛星システムの整備等を着実に進めるとともに、農業、交通・物流、インフラ管理、災害対応など、あらゆる分野で、省庁の垣根を超えて、衛星データの活用を集中的に進め、社会のデジタル化を加速します。
- ・ 関係閣僚は、井上大臣を中心に、しっかり連携し、本日決定した宇宙基本計画工程表の迅速かつ着実な実行に全力を挙げてください。

(議了)

出席者一覧

菅 義偉	内閣総理大臣
麻生 太郎	副総理 財務大臣 内閣府特命担当大臣 (金融) デフレ脱却担当
加藤 勝信	内閣官房長官 沖縄基地負担軽減担当 拉致問題担当
井上 信治	国際博覧会担当 内閣府特命担当大臣 (消費者及び食品安全 クールジャパン戦略 知的財産戦略 科学技術政策 宇宙政策)
武田 良太	総務大臣
上川 陽子	法務大臣
茂木 敏充	外務大臣
萩生田 光一	文部科学大臣 教育再生担当
野上 浩太郎	農林水産大臣
梶山 弘志	経済産業大臣 産業競争力担当 ロシア経済分野協力担当 原子力経済被害担当 内閣府特命担当大臣 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構)
赤羽 一嘉	国土交通大臣 水循環政策担当
小泉 進次郎	環境大臣 内閣府特命担当大臣 (原子力防災)
岸 信夫	防衛大臣

平沢 勝栄	復興大臣 福島原発事故再生総括担当
小此木 八郎	国家公安委員会委員長 国土強靱化担当 領土問題担当 内閣府特命担当大臣 (防災 海洋政策)
河野 太郎	行政改革担当 国家公務員制度担当 内閣府特命担当大臣 (沖縄及び北方対策 規制改革)
坂本 哲志	一億総活躍担当 まち・ひと・しごと創生担当 内閣府特命担当大臣 (少子化対策 地方創生)
平井 卓也	デジタル改革担当 情報通信技術 (IT) 政策担当 内閣府特命担当大臣 (マイナンバー制度)
橋本 聖子	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当 女性活躍担当 内閣府特命担当大臣 (男女共同参画)
和田 義明	内閣府大臣政務官
こやり 隆史	厚生労働大臣政務官
坂井 学	内閣官房副長官 (衆・政務)
岡田 直樹	内閣官房副長官 (参・政務)
杉田 和博	内閣官房副長官 (事務)
和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官 (国土強靱化及び復興等の社会資本整備、地方創生、健康・医療に関する成長戦略並びに科学技術イノベーション政策その他特命事項担当)